

SDGs

2015年9月25日～27日、ニューヨーク国連本部において、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150を超える加盟国首脳に参加のもと、その成果文書として、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。

アジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げており、この目標が、2030年を目標とした、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる		各国内および各国間の不平等を是正する
	飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する		包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市および人間居住を実現する
	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		持続可能な生産消費形態を確保する
	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する		気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
	ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う		持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する		陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する		持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する		持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する
	強靭（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る		

重点プログラム・指標一覧
基本目標Ⅰ 気候変動対策（緩和・適応）の推進

項目	重点プログラム	指標	現状 令和元(2019)年度	努力目標 令和6(2024)年度
新エネルギーの導入推進	太陽光発電の導入促進	県内に設置された太陽光発電総設備容量(効・ワット、累計)	1,802	3,500
	木質バイオマスのエネルギー利用推進			
	情報の発信と地域資源を活かした取組の推進	新エネルギー関係セミナーへの参加者数(人、累計)	2,889	3,500
	地域ぐるみで進めるスマートコミュニティの推進	新エネルギーの導入を核とした地域づくりに取り組み地域の数(箇所、累計)	9	19
	オフイスビル等の省エネルギー化の推進			
省エネルギーの推進	県有施設等の省エネルギー化の推進	県の事務事業から生じる温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	59,795	73,675 <small>令和4(2022)年度</small>
	省エネルギーに配慮した住宅の普及拡大			
	省エネルギー型機器等の普及拡大	家庭用燃料電池の導入台数(台、累計)	2,096	2,600
	アースキーパーメンバシップ制度の推進	アースキーパーメンバシップ会員数(人・事業所、累計)	13,537	16,000
	脱炭素社会に向けたライフスタイル・ビジネススタイルの定着促進	おかやまCOOL CHOICE(賢い選択)の推進 エコドライブの推進	272 35,456	300 47,000
環境に配慮した交通環境の整備と活用の推進	地球に優しい移動手段の選択			
	信号灯器のLED化の推進	信号灯器のLED化率(%)	67.1	87
	県公用車へのエコカーの率先導入			
	電気自動車等(EV・PHEV・FCV)の普及促進	電気自動車等(EV・PHEV・FCV)の普及台数(台、累計)	5,797	8,600
	道路交通の円滑化の推進	主要渋滞箇所数(箇所)	50	45
温室効果ガスの排出抑制と吸収源対策の推進	信号機の高性能化整備数(基、累計)	504	630	
	高度化光ビコン整備数(基、累計)	569	790	
	岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度の対象となる事業所の温室効果ガス排出量(万t-CO ₂)	3,276 <small>(従前値)</small>	2,895	
	フロン類の排出抑制の推進			
	公益的機能を高めるための森林整備の推進			
気候変動への適応	県民参加による森づくりの推進	森づくり活動への参加企業数(企業、累計)	26	28
	都市緑化等の促進			
	適応計画の策定と推進			
	適応の推進体制の整備			

重点プログラム・指標一覧

基本目標Ⅱ 循環型社会の形成

項目	重点プログラム	指標	現状 令和元(2019)年度	努力目標 令和6(2024)年度
循環型社会実現に向けた意識改革と実践	「おかやま・もったいない運動」の推進			
	プラスチック3Rの推進 食品ロス削減の推進 循環資源マッチングシステムの利用促進	循環資源登録数(件、累計)	441	470
一般廃棄物の3Rの推進	循環型社会づくりに向けた処理システムの構築			
	ごみの分別収集の徹底 リサイクル関連法の周知・徹底	一般廃棄物の排出抑制・資源化率(%)	96.3 平成30(2018)年度	97
産業廃棄物の3Rの推進	排出事業者に対する指導・助言 リサイクル関連法の周知・徹底	産業廃棄物の排出抑制・資源化率(%)	95.6 平成30(2018)年度	96
	3Rに関する広域ネットワークの形成 公共工事に係る廃棄物の再資源化			
廃棄物の適正処理の推進	循環型社会形成推進モデル事業の推進 一般廃棄物処理施設の計画的な整備の促進	建設廃棄物(アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥)の再資源化率(%)	74.8～100	100
	産業廃棄物処理業者等に対する監視・指導 PCB廃棄物の計画的な処理の推進			
不法投棄等の根絶と環境美化の推進	農業用使用済みプラスチックの適正処理の推進 産業廃棄物の広域的な移動に対する対応	農業用使用済みプラスチックのリサイクル処理率(%)	15.6	40
	不法投棄等の防止と早期発見 海ごみ対策の推進			
災害廃棄物に対する備え	地域の活動の促進			
	円滑な処理体制づくり	災害廃棄物処理計画策定市町村数(市町村)	14	27

重点プログラム・指標一覧

基本目標Ⅲ 安全・安心な生活環境の保全と創出

項目	重点プログラム	指標	現状 令和元(2019)年度	努力目標 令和6(2024)年度
大気環境の保全	工場・事業場対策の推進	工場・事業場の排ガス等基準適合率(%)	98	100
	大気汚染防止夏期対策の実施	オキシダント情報等メール配信登録者数(人、累計)	16,894	22,000
	微小粒子状物質(PM2.5)対策の推進	PM2.5環境基準達成率(%)	55.7 平成29(2017)年度～ 令和元(2019)年度の 加重平均値	85 令和4(2022)年度～ 令和6(2024)年度の 加重平均値
	ディーゼル自動車粒子状物質削減対策の推進	ディーゼル自動車粒子状物質対策済率(%)	72.8	80
水環境の保全	生活排水対策の推進	汚水処理人口普及率(%)	87.3	92.1
	工場・事業場対策の推進	工場・事業場の排水基準適合率(%)	93.3	98
児島湖水質保全対策の推進	児島湖再生の推進	児島湖の水質目標値(COD:mg/L)	8.1 平成29(2017)年度～ 令和元(2019)年度の 平均値	7.2 令和4(2022)年度～ 令和6(2024)年度の 平均値
	児島湖流域下水道事業の推進	児島湖の環境用水の導入量(m ³ /s)	0	2.4
	沿岸域の環境の保全、再生及び創出	自然海岸を活用した環境学習の回数(回)	5	5
瀬戸内海の保全と再生	水質の保全及び管理			
	瀬戸内海の自然景観及び文化的景観の保全			
	水産資源の持続的な利用の確保			
	道路交通、航空機、新幹線鉄道の騒音・振動対策			
	騒音・振動・悪臭に係る規制地域の適切な指定			
	工場・事業場対策の推進			
	有害大気汚染物質対策の推進	有害大気汚染物質等の環境基準及び指針達成項目の割合(%)	93	100
	有害化学物質対策の推進			
	アスベスト対策の推進			
	環境放射線の監視	環境放射線の監視測定の実施		

重点プログラム・指標一覧

基本目標Ⅳ 自然と共生した社会の形成

項目	重点プログラム	指標	現状	努力目標
自然公園等の保護と 利用促進	自然公園等の魅力向上に向けた取組	自然公園利用者数(万人)	令和元(2019)年度 1,100 平成30(2018)年度	令和6(2024)年度 1,210
	自然と調和した開発の指導			
野生生物の保護と適正な管理の推 進	レッドデータブックの充実と活用			
	希少野生動植物の保護			
	鳥獣保護対策の推進			
	特定鳥獣保護・管理対策の推進			
	狩猟者の確保			
自然とのふれあいの推進	外来生物に関する普及啓発等の推進			
	自然環境学習等の推進	自然保護センターの利用者数(人)	32,438	40,000
	自然とふれあえる体験の場や機会の充実	長距離自然歩道の利用者数(万人) 身近な自然体験プログラムの参加者数(人)	143 平成30(2018)年度 28,636 平成28(2016)年度～ 令和元(2019)年度の 平均値	160 30,000
里地・里山の 保全	農地・農業用水等の保全			
	都市と農村との交流推進	おかやま移住候補地体感ツアー(回)	2	2
水とどりに恵まれた環境の保全 と創出	森林の整備による快適な環境の保全	少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えの割合(%)	96.6	100
	都市と近郊のみどりの創出			
	緑化推進体制の充実			
	全国植樹祭の開催を通じた緑化意識の醸成			

重点プログラム・指標一覧

横断的な視点Ⅰ 環境の未来を支える担い手づくり

項目	重点プログラム	指標	現状 令和元(2019)年度	努力目標 令和6(2024)年度
協働による 環境保全活動の 促進	環境パートナーシップの形成促進			
	地域課題解決ビジネスの支援			
	アダプト事業の推進			
	イベント等のエコ化の推進	グリーンイベント登録数(件)	17	30
環境学習・環境教育の充実	環境学習の機会の提供	環境学習出前講座・環境学習エコツア参加人数(人)	27,593	20,000以上
	子どもたちの環境活動への支援			
	スーパーエバンパイロメントハイスクールの指定			
	環境学習指導者の育成・活用	環境学習指導者登録数(人、累計)	108	130
景観の保全と創造	景観行政団体となる市町村の拡大と連携強化	景観行政団体の数(市町村)	9	12
	快適な生活環境の保全			

重点プログラム・指標一覧
 横断的な視点Ⅱ 環境の未来を創る経済振興

項目	重点プログラム	指標	現状 令和元(2019)年度	努力目標 令和6(2024)年度
環境等関連分野の産業の振興	中小企業の新エネルギー設備導入等の支援			
	新エネルギー分野等に関する新技術等の研究開発の支援			
	電気自動車等 (EV・PHEV・FCV) の普及と技術開発			
	循環型産業クラスターの形成	循環型産業クラスター形成促進事業を活用した製品開発等への取組の数(件、累計)	40	55
	木質バイオマスの活用推進			
	総合特区制度を利用した高効率・省資源型コンビナートの実現			
	環境保全型農業の推進			
	魅力ある林業の実現			
	環境マネジメントシステムの普及拡大	エコアクション21認証・登録事業者の数(事業者、累計)	110	130
	環境保全に貢献する認証・認定制度の普及促進	岡山県エコ製品の認定品目数(品目、累計) 「岡山エコ事業所」の認定・周知	372	380
環境に配慮した事業者の育成・拡大	「岡山エコ事業所」の認定・周知	岡山エコ事業所の認定件数(件、累計)	256	260
	事業者による環境コミュニケーションの推進			
	環境影響評価の適正な実施			
	「岡山県グリーン調達ガイドライン」に基づく取組の推進	岡山県グリーン調達ガイドラインに基づき調達目標を設定している品目のうち目標を達成した品目の割合(%)	95	100